

開講科目名／Course	看護管理学概論Ⅱ	
ターム・学期／Term・Semester	2025年度／Academic Year 3 学期／Third	
開講区分／semester offered	3 学期／Third	
単位数／Credits	1.0	
学年／Year	3	
主担当教員／Main Instructor	福田 広美	
担当教員名／Instructor	福田 広美、荒木 章裕、矢野 亜紀子、大矢 七瀬	
必修・選択 ／compulsory subject	必修	
講義形態 ／Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	看護管理学概論Ⅱでは、看護管理学概論Ⅰで学んだ知識を踏まえて看護管理のプロセスおよびマネジメントの実際について学習する。 マネジメントや医療・看護の質を高めるための理論や方法などを学び、組織等で看護職としての役割を發揮できる基本的な態度を身に付けるとともに、より良い看護を提供するための政策立案に向けた思考の基盤を作る。	
到達目標	1. 看護サービスの提供のプロセスと仕組みづくりについて説明できる。 2. 看護サービスの質評価と質の保証について、改善策を立案・検討できる。 3. 看護を取り巻く諸制度について説明できる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ	
授業計画	01. 看護現場に関連する制度と法律 02. 看護における人のマネジメント 03. 看護における物やコストのマネジメント 04. 看護組織の活動と倫理 05. 看護と経済・経営 06. 看護サービスのマネジメント 07. 医療・看護の質改善1：看護の実践現場における改善計画 08. 医療・看護の質改善2：発表とディスカッション	
その他の授業の工夫	学生が主体的に学ぶため、教員からの積極的な発問に加え、グループワークや意見交換等のアクティブラーニングを実施する。	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容について、事前に配布する資料や教科書を用いて予習する（8h）。 事後学修：授業で学習したことを整理し、獲得した知識の定着を図る（14h）。	
評価方法と評価割合	出席時間数の3分の2以上の出席を評価要件とする。 平常点：10%（発言等の積極性）、レポート：90%	
テキスト	テキストは使用せず、毎時間、講義資料を配布する。	
参考書	系統看護学講座 別巻 看護管理（医学書院） 看護の統合と実践① 看護管理（メディカ出版）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院に勤務する看護師 荒木章裕：病院に勤務する看護師 矢野亜紀子：病院に勤務する看護師 大矢七瀬：病院に勤務する助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護職としての実務経験を活かして看護管理の在り方と実際について授業を行う。	